

「浦安市市民意識調査」結果の概略

市では、市民の多様化するニーズを的確に把握するため平成21年7月に「市民意識調査」を実施しました。

今回は、第2期基本計画のなかで、先導的・主導的な役割を果たす施策として位置づけたリーディングプランについて、市民の皆さんの現状評価（満足度）と重要度を伺いました。今後、それぞれの担当部署で調査結果を分析し、

市民の皆さんの考えを市政に反映させ、「住みがいのあるまち」を目指していきます。

ここでは、市民意識調査の結果の概略をお知らせします。市民意識調査の結果は、情報公開コーナー（文化会館2階）、中央図書館、各公民館分館・図書室、市ホームページでご覧になれます。
【問】広聴広報課

調査項目

- ・定住意向について
- ・地域コミュニティについて
- ・市の取り組みについて
- ・市の取り組み全体の現状評価（満足度）について

調査の実施概要

【調査対象】市内在住の満20歳以上の男女、3000人
（単純無作為抽出法）
【調査方法】郵送配付・郵送回収法
【調査期間】平成21年7月7日～24日
【回収数(率)】1508人(50.3%)

調査回答者の特性

性別			男性	女性	無回答
		n			
全体		1508	43.7%	56.0%	0.3%

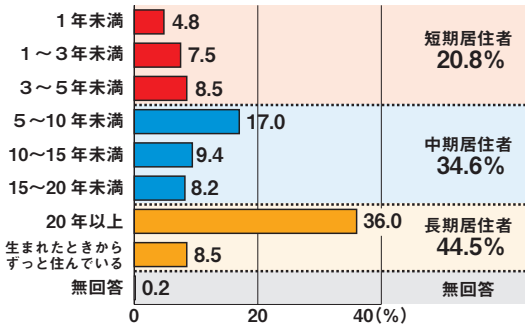
年齢			20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～70歳	70歳以上	無回答
		n								
全体		1508	12.5%	23.7%	19.8%	16.9%	9.6%	8.3%	9.2%	0.1%

※グラフ中の数値は、調査に参加した方、または分類別の回答者（nと表示）を100%として計算した比率です。計算の都合上、四捨五入しているため、比較の合計は100%にならない場合があります。複数回答の質問は、回答の合計が100%を超えることがあります

定住意向

居住年数

5年未満の《短期居住者》は20.8%、5～20年未満の《中期居住者》は34.6%になっています。
一方、「20年以上」は36.0%で、これに「生まれたときからずっと住んでいる」（8.5%）を合わせた《長期居住者》は44.5%を占めています。



愛着度

浦安市に愛着を「感じている」は74.9%と、「感じていない」（10.3%）を大きく上回っています。

定住意向

浦安市に「ずっと住みたい」は67.6%と約7割を占めています。また、「どちらともいえない」は28.8%で、「住みたくない（できれば引っ越したい）」は3.3%になっています。

地域コミュニティ

近所づきあいの様子

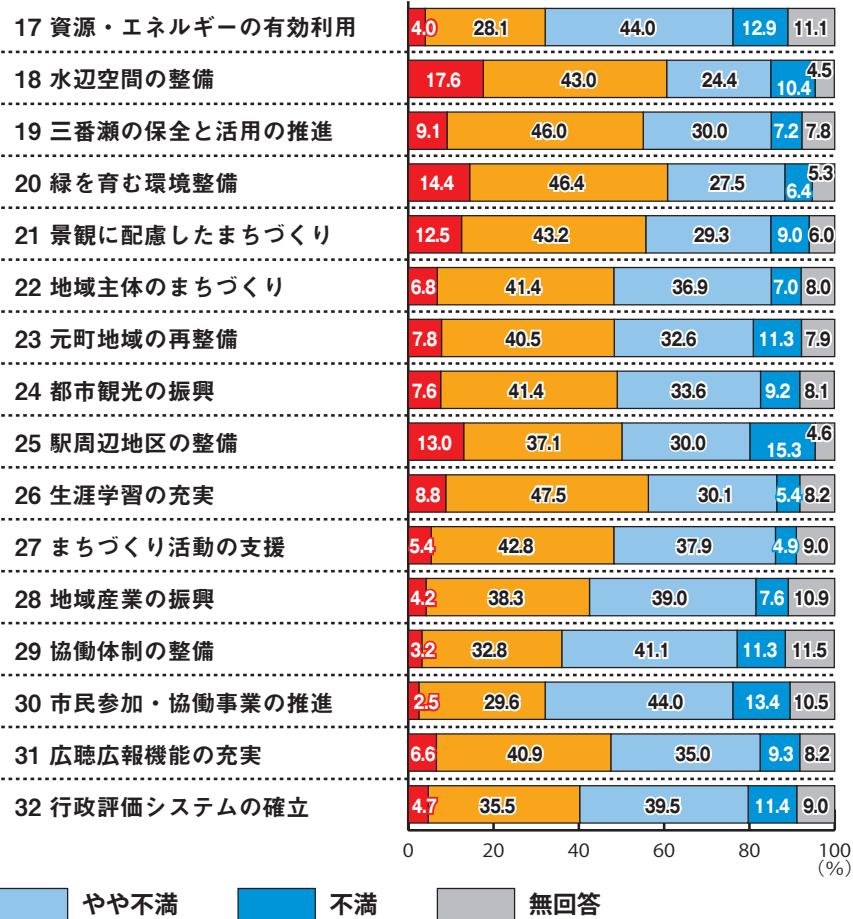
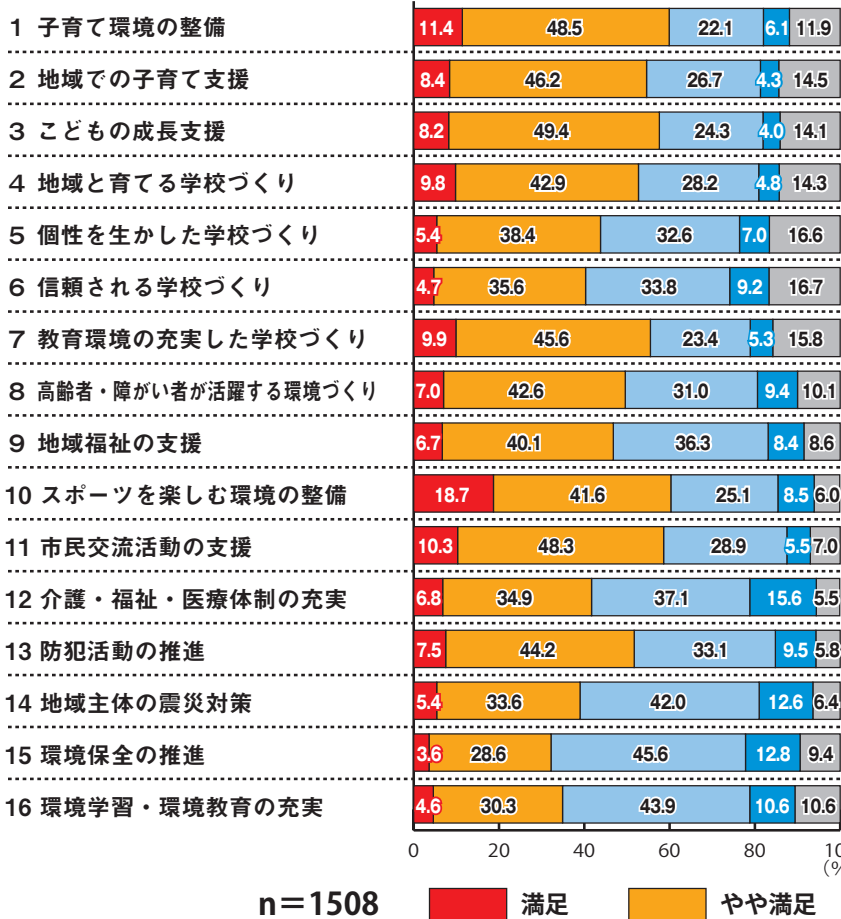
「顔があえばあいさつをする程度」が45.9%で最も多く、これに「ときどき立ち話をする程度」（30.9%）が続きます。また、「留守を頼んだり親しく話をする」は11.4%になっている一方、「ほとんどつきあいが無い」は11.6%になっています。

市の取り組み

現状評価（満足度）

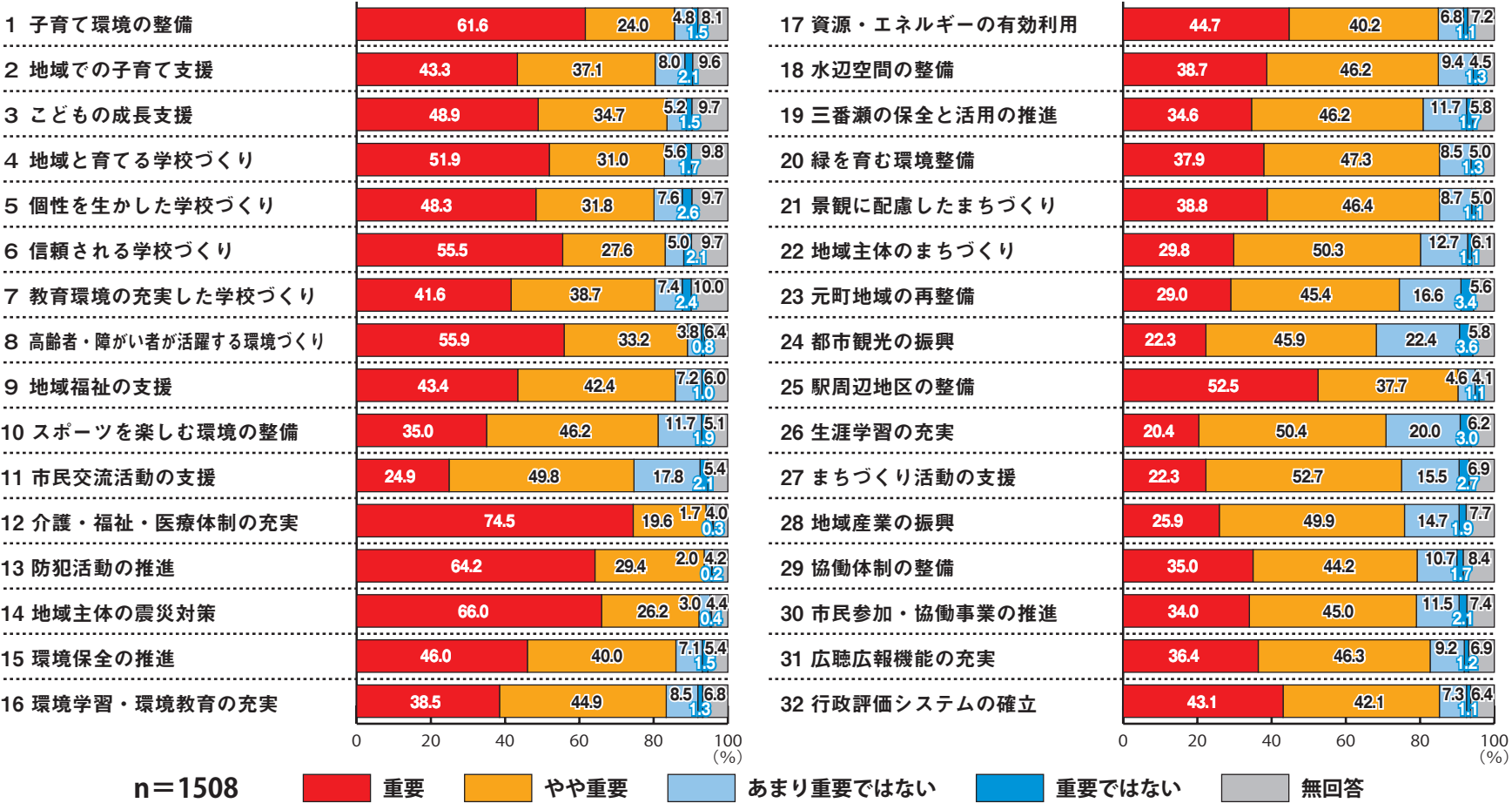
市の取り組みについて、各分野に対する評価をききました。《満足度》（「満足」＋「やや満足」）の高い順でみると、「20 緑を育む環境整備」が60.8%で

最も高く、以下、「18 水辺空間の整備」（60.6%）、「10 スポーツを楽しむ環境の整備」（60.3%）、「1 子育て環境の整備」（59.9%）の順で続いています。
一方、《不満度》（「やや不満」＋「不満」）の高いものとしては、「15 環境保全の推進」（58.4%）、「30 市民参加・協働事業の推進」（57.4%）、「17 資源・エネルギーの有効利用」（56.9%）があげられています。



● 重要度

市の取り組みについて、各分野の重要度評価をさきました。《重要度》（「重要である」＋「やや重要である」）の高い順でみると、「12 介護・福祉・医療体制の充実」が94.1%で最も高く、以下「13 防犯活動の推進」（93.6%）、「14 地域主体の震災対策」（92.2%）の順で続いています。



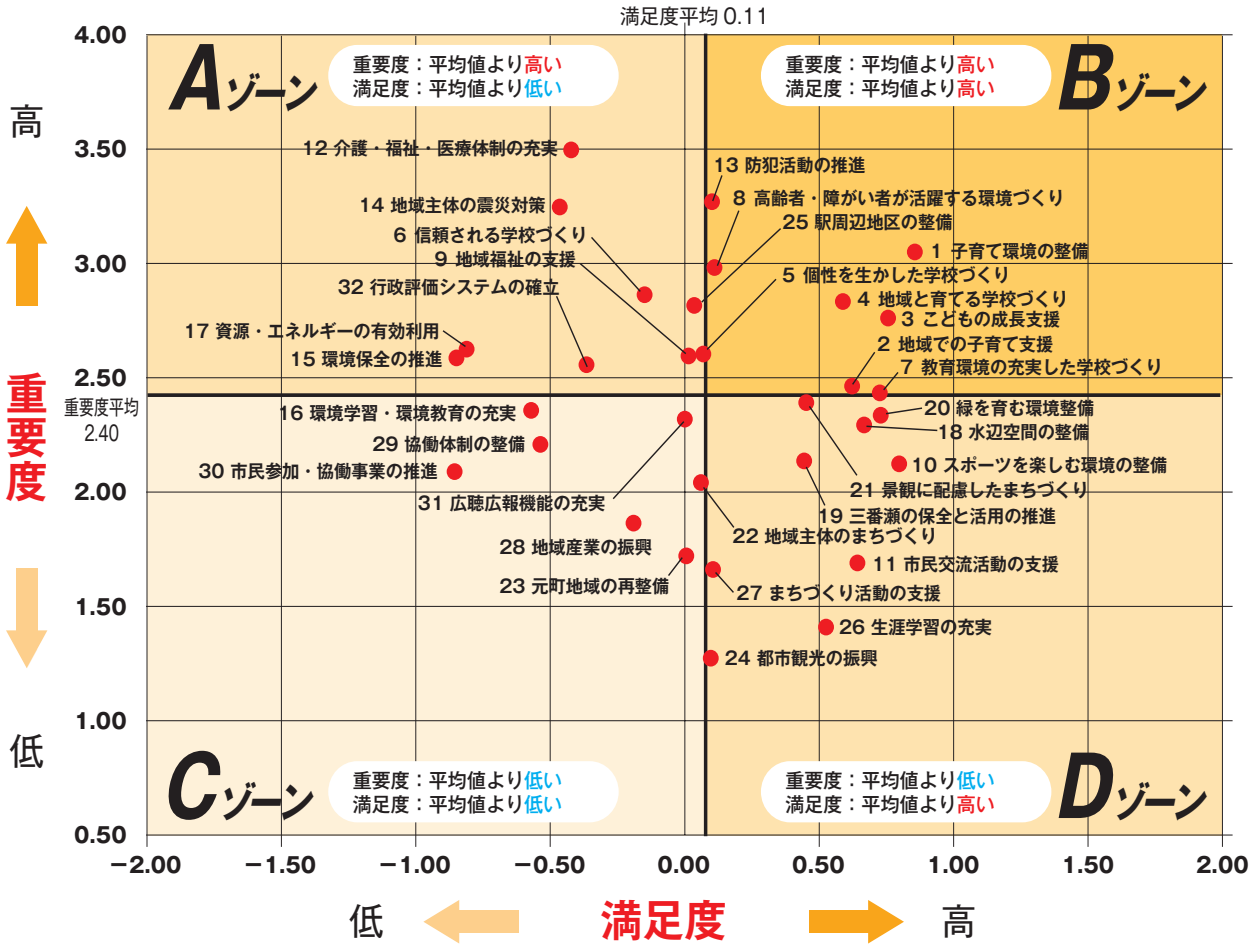
● 現状評価（満足度）・重要度の評価点

各取り組みの選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）・重要度の評価点を、下記の計算式により算出し、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって32項目を相対的に評価するため、平均値（満足度の平均値0.11、重要度の平均値2.40）を境として、4つの領域に分類しました。

その結果、市民に優先的に取り組むことが望まれている項目（Aゾーン：重要度が高く、満足度は低い）として、「12 介護・福祉・医療体制の充実」「14 地域主体の震災対策」「6 信頼される学校づくり」「9 地域福祉の支援」「32 行政評価システムの確立」などがあり、安全で、安心して生活できるまちづくりが求められていることがわかります。

〈計算式〉

現状評価（満足度）＝ {「満足」×4点＋「やや満足」×2点＋「やや不満」×（－2点）＋「不満」×（－4点）} ÷ 「無回答」を除く有効回答者数
重要度＝ {「重要である」×4点＋「やや重要である」×2点＋「あまり重要ではない」×（－2点）＋「重要ではない」×（－4点）} ÷ 「無回答」を除く有効回答者数



満足度 上位		重要度 上位	
1	子育て環境の整備	12	介護・福祉・医療体制の充実
10	スポーツを楽しむ環境の整備	13	防犯活動の推進
3	こどもの成長支援	14	地域主体の震災対策
7	教育環境の充実した学校づくり	1	子育て環境の整備
20	緑を育む環境整備	8	高齢者・障がい者が活躍する環境づくり

市の取り組み全体に対する現状の評価（満足度）

市の取り組み全体に対しては、「満足」が5.3%、これに「やや満足」（61.3%）を合わせた《満足度》は66.6%を占めています。一方、「やや不満」は25.3%、「不満」は5.8%となっています。

